

資料 3

令和 4（2022）年 4 月 20 日 定例記者会見資料
所属 教育部国体推進課・市民生活部廃棄物対策課
・気候変動対策局気候変動対策課

氏名 国体推進課長 相馬 智子 電話 0287-38-0191
廃棄物対策課長 大野 薫 電話 0287-62-7301
気候変動対策課長 相樂 尚志 電話 0287-62-7104

ゼロカーボン・プラごみゼロ国体への挑戦

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会では、市開催競技会の運営にあたり、「持続可能なまち那須塩原」の構築に向け、ゼロカーボンやプラスチックごみゼロに挑戦します。

《取組のキャッチコピー》

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 in 那須塩原
～ゼロカーボン・プラごみゼロへの挑戦～

■ ゼロカーボンへの挑戦

- 市内の小水力発電で充電した電気自動車から競技会場に電気を供給

対象競技	競技会場	競技日数
トライアスロン	戸田調整池周辺特設コース	1 日

- 再生可能エネルギー由来などのカーボンフリー電気を競技会場に供給

対象競技	競技会場	競技日数
サッカー（少年女子）	キョクトウ青木フィールド	2 日
ソフトテニス	石川スポーツグラウンドくろいそ	4 日
馬術	地方競馬教養センター	5 日
ゴルフ（成年男子）	ハウライカントリー倶楽部	3 日
ゴルフ（女子）	塩原カントリークラブ	
ゴルフ（少年男子）	西那須野カントリー倶楽部	
ボッチャ	三和住宅にしなすのスポーツプラザ	2 日

■ プラスチックごみゼロへの挑戦

- 選手監督等の弁当に、那須塩原ブランド認定品の赤松材を用いた経木の弁当箱を活用
- 競技役員・競技会係員・ボランティア等の弁当は、紙製の弁当箱及び仕切りも紙製を活用
- 選手や監督等に配布する資料袋及び競技会場で使用するごみ袋の原料は、植物由来と再生プラスチック由来のものを使用

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 in 那須塩原 ～ゼロカーボン・プラごみゼロへの挑戦～

那須塩原市は、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会においても、ゼロカーボンやプラごみゼロの取組を行い、「持続可能なまち那須塩原」の構築に向けて進みます。

国体で使用する電気は 小水力発電等のカーボンフリー電気を供給



← 小水力
発電で充電
した電気自
動車で会場
に電気を供
給します。



選手監督等の弁当には、那須塩原ブランド
認定の赤松材の経木を用いた弁当箱を活用
します。↓ ↓



役員・競技会係員・ボランティア
等の弁当箱はプラスチックを排除
し紙の仕切りを使用します。



選手・監督に配る資料袋
を植物由来原料と再生プ
ラスチック由来原料とし
たものにします。→→

国体で使用する製品からの
プラスチックごみの排出を抑制